

第3回銚子市子ども・子育て会議 概要

開催日時	令和元年10月16日(水) 午後1時30分から午後4時00分まで
開催場所	市役所議会棟 全員協議会室
出席者	10名 椎名会長、長島委員、岩田委員、小林委員、中山委員、石橋委員、林(元)委員、岡田委員、林(玲)委員、加瀬委員
欠席者	5名 佐野副会長、村田委員、平幡委員、宮川委員、田中委員
事務局	12名 子育て支援課 山口課長、神崎補佐、高木主査、酒井副主査 学校教育課 北村課長、井上室長、松浦指導室長 健康づくり課 岡根副主幹、岡崎副主査、鵜月コンシェルジュ 社会福祉課 石田課長、土屋室長
議題	1. 開会 2. 会長あいさつ 3. 議事 (1) 第2期銚子市子ども・子育て支援事業計画について ・素案の検討について (2) 公立保育所再編について (3) その他 4. その他 5. 閉会

1. 開会	
2. 会長あいさつ	
3. 議事	
(1) 第2期銚子市子ども・子育て支援事業計画について ・素案の検討について（第1章～第4章） (資料)「銚子市 第2期子ども・子育て支援事業計画 素案」 事務局より説明	
委員	P27、第2章、3. アンケート調査結果からみる子育て家庭の現状、「⑫子育てしやすいとは思わない理由」については、「子どもの遊び場が少ない」の回答率が高い。既存の整備以外の対策は。
事務局	「子どもの遊び場の整備」記載の公園や子どもの遊び場に、近年子どもが遊んでいる実態がなく、利用状況を考えると縮小方向で検討せざるを得ない。施設の面積、数の拡大は難しく、遊び場の整備として、大型遊具の設置等を行い、子ども達が安全に遊べるような環境をつくっていきたいと考える。駐車場がある大きな公園や児童館を短期的に整備することは難しい状況。
委員	公園や施設に行きやすい環境、子どもが安全に遊べる場が必要。
委員	隣の市の公民館等に行くという方が多くいる。魅力がなければ利用者も来ない。形だけでなく、きちんと整備していく必要があると思う。
事務局	意見を踏まえ、行きやすい、遊びやすい環境を考えていきたい。
(1) 第2期銚子市子ども・子育て支援事業計画について ・素案の検討について（第5章、基本施策1～基本施策5） (資料)「銚子市 第2期子ども・子育て支援事業計画 素案」 事務局より説明	
委員	子どもに対しての支援は充実してきていると思うが、子どもを育てる親に対する助成に目を向けても良いのでは。子育てをしていて生活しやすく、魅力あるまちにすることで、銚子市に住む子育て世代の方が増え、転出者の減少になるのでは。
事務局	子どもだけでなく、まわりの環境や若年層の保護者も含めた内容だが、銚子市の目玉となる施策が打ち出せていないため、支援が必要だと思う。ご意見を参考に検討したい。

委員	<p>銚子市は歩道があまりなく道が狭い。また、障害を抱える子どもに対応しきれていない部分がある。支援を受けている方がいることを認識した上で計画策定をしていただきたい。</p>
	<p>(1) 第2期銚子市子ども・子育て支援事業計画について          ・素案の検討について(第5章、基本施策6～基本施策7)          (資料)「銚子市 第2期子ども・子育て支援事業計画 素案」          事務局より説明</p>
委員	<p>P79、基本施策7、具体的施策2、「放課後等デイサービス(以下放課後デイ)」、「放課後児童クラブ(以下クラブ)での障害のある児童の受け入れ」について、現在クラブで障害のある児童を受け入れするために、施設の機能として足りない部分がある。クラブから放課後デイへ移行したほうが良いのではないかと思われる児童もいるが、専門家視点での児童に対する必要な支援を、保護者に伝えることは難しく、サービスの移行ができていない。</p> <p>また、移行にあたり、障害の認定審査が必要な点、同じ学校の友達とも遊ばせたいという保護者の要望など、クラブと放課後デイの併用利用が可能となると良いが、費用負担の問題などもあるので、銚子市独自の支援があると良い。</p>
事務局	<p>子どもの発達障害を保護者が認めるには大きな壁があると認識している。クラブの指導員向けに、発達障害の子どもに対する指導・研修が必要。費用負担に関しては財政的な部分もあり検討が必要なので、ソフト面で対応していきたい。</p>
	<p>(1) 第2期銚子市子ども・子育て支援事業計画について          ・素案の検討について(第6章)          (資料)「銚子市 第2期子ども・子育て支援事業計画 素案」          事務局より説明</p>
議長	<p>虐待については、児童相談所と家庭、学校と児童、児童相談所と警察といった連携が綿密に行われているようですが、隙間を縫った事故、事件が起きていると認識している。銚子市には児童相談所があり、児童相談所と学校教育課、健康づくり課が定期的に連携をしながら情報交換を行い、学校へ情報を送る、または学校から情報をもらうなど成果をあげていると思う。銚子市要保護児童対策地域協議会が立ち上がっているということもあり、計画の中で強化していただきたい。</p>
事務局	<p>銚子市要保護児童対策地域協議会では、児童相談所、警察、保健所などの関係各所を交えた要保護児童対策実務者会議を年3回</p>

	<p>開催。随時事案は発生するので、常に情報交換をしている。教育、福祉の部分においても十分に連携していきたい。また、全国で外国人を含めた居所不明の子どもの調査を実施しており、本市でも教育関係機関、保育所、幼稚園等と連携しながら家庭訪問を実施している。</p>
議長	<p>切れ目のない支援と言葉で表すのは簡単ですが、具体的に実行するとなると困難を伴うので、対応をよろしくお願いします。</p>
	<p>(2) 公立保育所再編について  (資料1)「公立保育所の再編についての意見(まとめ)」  (資料2)「施設定員と将来児童見込数の関係」  (資料3)「入所児童の小学校区別在籍状況」  事務局より説明  (質疑応答)</p>
委員	<p>計画書素案、P23、アンケート結果より、「教育・保育事業を利用するにあたり、重視すること」の回答結果として、「自宅に近い」という回答が最も多い。公立保育所の再編については、待機児童が出るか出ないかという観点で見ているが、場所が近いことがメリットだと思う方が7割いることに対する対策は。また、1か所を閉所することと、第二保育所、第三保育所の定員を半分にしてそのまま存続させることでは、どのようなメリットとデメリットがあるのか。</p>
事務局	<p>施設数を減らさずに満遍なく定員を下げれば、「自宅に近い」という要望に対しては応えることができるが、現実問題として施設の維持管理経費がかかり、4つの施設を維持することは非効率的。一つの視点からだけでは判断できないところが難しい部分だと考える。</p>
委員	<p>公立の施設はなぜ定員を減らさないのか。また、資料2では、令和6年にシミュレーション3で「▲44」、シミュレーション4で「▲14」の不足が発生しているが、足りない部分は民間に委託するべきでは。公立を2か所減らすことにより不足が予測されるのであれば、民間に委託することで最低限の確保は可能。</p>
	<p>海鹿島保育所は令和3年度末で閉所予定となっているが、指定管理期間は来年まで。令和3年度末に閉所となった場合、指定管理を受ける他の事業所はあるのか。</p>
委員	<p>公立は定員を減らさずにそのまま継続するのか。</p>
事務局	<p>保育所の数を減らす再編案なので、定員は維持。</p>

	<p>海鹿島保育所の指定管理期間は令和2年度末までとなっているため、保育士の処遇の問題もあるが、それ以前に、在籍している子どもの一部に転園してもらう必要がある。0～5歳の在園児全員が卒園するまでは待てないので、タイミングについては事業者と相談したい。公立のみで受けるのは定員オーバーになるため、民間の協力も必須と考える。</p>
議長	<p>各施設の認定区分別、年齢別の人数配分はわかると思うので、それを用いたシミュレーションをすることで、自宅から近いという距離感を含めた課題が見えてくるのでは。次回、可能であればシミュレーションを出していただきたい。</p>
委員	<p>施設数を変えずに定員を減らすことのデメリットは、維持管理経費以外に何かあるか。</p>
委員	<p>資料1、問3-6に、市の財政上の負担は、公立の場合10/10、民間の場合は1/4に軽減されるのではないかとある。</p>
事務局	<p>民間保育所の運営費は、国が1/2、県が1/4、市が1/4を負担。公立の場合は国や県からの補助金はないが、地方交付税が交付され、10/10を負担しているということにはならない。公立の児童数が減ると交付税は少なくなる。</p>
事務局	<p>デメリットについては、定員を多く設定して建てた施設のため、電気など、規模に合わなくなっている部分がある。</p>
委員	<p>自宅に近い施設を望む方が多くいることを考えてもデメリットになるほど電気代は高額なのか。</p>
事務局	<p>電気代だけであればそこまでではないが、施設改修費、人件費、光熱費等、全体的に費用はかかる。</p>
委員	<p>1か所に集約することで予算を集中し、病児保育や送迎バスを用意するなど、今まで以上に保護者の負担が減りメリットが増えるということがないと、経費などの数字だけでは保護者は納得できないと思う。</p>
事務局	<p>第一保育所を閉所した際に、通園が遠くなってしまう方がいたため、延長保育の時間を延ばした。そのようなことも含め、空き部屋を利用した病児保育を検討するなど、再編によるメリットがあるようにしたいと思う。</p> <p>海鹿島保育所の閉所後、第二保育所または第三保育所の閉所を決定することで、保育士などの人員についても余裕が生まれる可能性があり、更なる保育の充実に努めたい。</p>

議長	義務教育である小・中学校では、全国的に生徒数が減少しているも、少人数指導員や英語指導員の配置などを行い、予算は増額している。児童数の減少により予算が減るかたちにはならないと思うが、今年度の人件費を含めた公立保育所の予算額は。
事務局	公立3施設における予算案は4億4,939万4千円、指定管理費の委託料は、7,110万円。海鹿島保育所の指定管理費は民間と同様の算定のため概算。
委員	第四保育所のみ残すという案はどうなりましたか。
事務局	前回会議で、銚子市を東西に分けてそれぞれ1か所ずつ残し、第四保育所が公立では一番西側にあるので残したいという案でした。
委員	第三保育所のほうが建物は新しいですね。
事務局	新しいですが、5年差なのでどちらにしても、いずれ大規模改修は必要になると思われる。
委員	銚子市に魅力を感じない若い方が多くなると思うので、最終的には第四保育所のみになってしまうと思う。早めに一つに集約したほうが良い。
事務局	現時点での市の考え方としては、再編をして2か所体制にしたいと思う。
委員	徐々に再編を行えば良いが第一保育所が閉鎖してから何年も経過しており、突然2か所閉鎖と言われても保護者は納得できないと思う。
事務局	第一保育所の閉鎖より間が空いてしまったのは確かである。
委員	その間に、民間の認可保育園が1園増えた。段取りを踏まないで保護者は驚くと思います。
事務局	段取りについても議論し、パブリックコメント、市民や保護者への説明と段階を踏んで進めていきたいと考える。現時点では、2か所体制を目指しての再編を考えていきたい。
委員	パブリックコメントは、多くの子育て世代の方の意見が吸い上げられるようにわかりやすく行ってほしい。
議長	本日は多くの貴重なご意見、ありがとうございました。事務局は、ご意見を参考に今後の事業を計画的に進めていただければと思います。

4. その他

5. 閉会